

校長室だより第 23 号（令和 7 年 9 月 10 日）

9 月 8 日の未明は、3 年ぶりの皆既月食でしたね。皆さんはご覧になりましたか。私は見る気満々でしたが、『無意識の私？』が目覚ましを止めてしまい、気づいた時には朝でした。暫し、呆然としましたが、すぐに立ち直り、次の月食がいつなのかを調べました。なんと、来年の 3 月 3 日だそうです。それも夕方から始まるということで寝過ぎ心配もいりません。あとは晴れるのを祈るだけです。

さて、お月様とは全く違う話です。

参加した研修が終了したのが 16 時半。この日は 18 時半から学習会が予定されていたので、軽い食事を取るためにファミレスに寄りました。

席に案内され、早速タブレットを操作しながらメニューを決めました。どうも私はこの注文の仕方が苦手で、時間がかかってしまいます。直接注文をする方が楽なのですが、店員さんも人件費削減のために少ないようで・・・。

悪戦苦闘？して注文を済ませると、左隣の席に親子連れが来ました。お父さん、お母さん、そして小学校 3～4 年生くらいの息子さんです。早速タブレットを操作して、注文を終わらせました。さすが、若い世代だと感心しました。

注文が終わると、息子さんは携帯ゲーム機を取り出しゲームに集中し、お父さんとお母さんは個々にスマートフォンの画面を覗いています。

全く会話がありません。

普段隣の席など気かけたりしませんし、会話の内容を聞く気もありませんが、会話が全くないので気になってしまったのです。

お父さん、スマートフォンから目を離して、おしゃべりしてくれないかな。

いや、お父さんは急な仕事が入ったのかもしれない。

お母さん、スマートフォンから目を離して、食後のデザートについて相談すればいいのに。

いや、お母さんは大事な仕事の合間を縫ってこのファミレスに来て、食事終了後に会社に戻るから、デザートを食べる暇はないかもしれない。

男の子もゲームなどいつでもできるからやめればいいのに。

いや、このファミレス限定で特別にもらえるキャラやアイテムがあり、今ゲームをしなければならないのかもしれない。

私は、一人で黙々と食事をしながら、どうでもいい想像をしてしまいました。

いろいろな価値観があることは尊重しますが、家族との食事ですから、会話がある方がいいのにはと思います。たくさん会話をしておいた方が、より良い親子関係を築くことができ、たとえ、お子さんが反抗期を迎えた時にも、役立つと思います。

「大きなお世話だ。価値観の押し付けだ。」と言われてしまいそうですが、私は『会話』が大事だと思います。